

第4次国有林野施業実施計画書

(磐城森林計画区)

計画期間 自 平成25年4月 1日
至 平成30年3月31日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所 ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプタイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	8
5	保護林の名称及び区域	9
6	レクリエーションの森の名称及び区域	10
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	14
8	その他必要な事項	15
附 属 資 料		
(1)	国有林野の現況	23
(2)	機能類型別の国有林野の現況	34
(3)	林道等の現況	35
(4)	収穫予想表	35
(5)	地元施設等の現況	35

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積ha、伐期齢 年)

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ長伐期	5,474.99	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
スギ分散伐区	13,868.15	〃	45
ヒノキ長伐期	984.92	〃	80
ヒノキ分散伐区	6,420.61	〃	50
アカマツ長伐期	11,631.36	〃	80
アカマツ分散伐区	5,102.78		55
スギ複層林	1,897.89		45～90
ヒノキ複層林	942.85		50～100
その他複層林	7.7		50～100
天然生アカマツ分散伐区	7,229.50	伐採面積の縮小、モザイク的配置	55
ぼう芽分散伐区	3,343.20	〃	25
天然林漸伐分散伐区	4,198.31	伐採面積の縮小、モザイク的配置、伐採率の縮小	65、モミ80
択伐	10,094.28		回帰年は定めない
その他	3,033.46		定めない
施業群設定外	-		
合計	73,530.00		

- (注) 1 択伐施業群の伐採は標準伐期齢以上とし、水源かん養機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。
- 2 保護樹帯の伐採は、保護樹帯設定基準によるものとする。
- 3 面積は林地面積を計上している。
- 4 施業群設定外は更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当ではない林地とする。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	摘 要
スギ長伐期	343	
スギ分散伐区	1,541	
ヒノキ長伐期	62	
ヒノキ分散伐区	643	
アカマツ長伐期	727	
アカマツ分散伐区	464	
スギ複層林	211	
ヒノキ複層林	95	
その他複層林	1	
天然生アカマツ分散伐区	658	
ぼう芽分散伐区	669	
天然林漸伐分散伐区	323	
択 伐	1,010	
そ の 他	304	
施業群設定外	-	
合 計	7,051	

(注) 契約に基づいて主伐を実施する分収林については、水源涵養機能の発揮に支障がない限り、上限伐採面積に含めないことができるものとする。

(4) 伐採総量

(単位：m³)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	-	272 (2.00)	272 (2.00)				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	-	-				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水 源 涵 養 タ イ プ	スギ長伐期	-	51,387	51,387			
	スギ分散伐区	192,989	63,621	256,610			
	ヒノキ長伐期	-	10,166	10,166			
	ヒノキ分散伐区	120	49,284	49,404			
	アカマツ長伐期	-	7,442	7,442			
	アカマツ分散伐区	36,505	2,777	39,282			
	スギ複層林	-	20,194	20,194			
	ヒノキ複層林	-	1,883	1,883			
	その他複層林	-	-	-			
	天然生アカマツ分散伐区	-	703	703			
	ぼう芽分散伐区	-	-	-			
	天然林漸伐分散伐区	-	27	27			
	択伐	-	768	768			
	その他	-	1,293	1,293			
	施業群設定外	-	-	-			
	計	231,437	209,817 (2,601.16)	441,254 (2,601.16)	71,790 [503,696]	513,044 [503,696]	-
合 計	231,437	209,817 (2,601.16)	441,254 (2,601.16)	71,790 [503,696]	513,044 [503,696]	-	513,044 [503,696]
年 平 均	46,287	41,963 (520.23)	88,250 (520.23)	14,358 [100,739]	102,608 [100,739]	-	102,608 [100,739]

(注) 1 : () は、間伐面積である。
 2 : [] 内の数字は避難指示区域のものであり、外書き。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林			地		林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	計	臨時伐採量	計		
いわき市	210,296	194,812 (2,346.90)	405,108 (2,346.90)				
相馬市	1,290	12,637 (217.82)	13,927 (217.82)				
南相馬市	19,851	2,368 (36.44)	22,219 (36.44)				
広野町	-	-	-				
檜葉町	-	-	-				
富岡町	-	-	-				
川内村	-	-	-				
大熊町	-	-	-				
双葉町	-	-	-				
浪江町	-	-	-				
葛尾村	-	-	-				
新地町	-	-	-				
飯館村	-	-	-				

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	-	-	-	-	1,705.89 (994.34)	1,705.89 (994.34)
	複層林造成	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	1,705.89 (994.34)	1,705.89 (994.34)
天然 更新	天然下種第1類	-	-	-	-	264.12 (263.16)	264.12 (263.16)
	天然下種第2類	-	-	-	-	44.09 (12.25)	44.09 (12.25)
	ぼう芽	-	-	-	-	89.45 (24.41)	89.45 (24.41)
	計	-	-	-	-	397.66 (340.45)	397.66 (340.45)
合 計		-	-	-	-	2103.55 (1,334.79)	2103.55 (1,334.79)

注 () 内の数字は避難指示区域のものであり、内書き。

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下刈	-	-	-	-	4,007.04 (829.34)	4,007.04 (829.34)
	つる切	2.02 (2.02)	-	0.13 (-)	-	1,031.43 (444.79)	1,033.58 (446.81)
	除伐	9.76 (4.03)	-	9.62 (9.12)	-	2,141.81 (905.22)	2,161.19 (918.37)
	計	11.78 (6.05)	-	9.75 (9.12)	-	7,180.28 (2,179.35)	7,021.81 (2,194.52)

注 () 内の数字は避難指示区域のものであり、内書き。

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	塩ノ平林道塩ノ平支線	371、372	600	
		江尻・横川	335	1,300	
		笹ノ太輪	347、348	1,700	
		間明沢第二	357	158	
		ムクロジ沢	399、400	2,000	
		戸草林道才勝分線	401、402	900	
		朝日林道朝日支線	412、413	709	
		芝山	55	1,300	
		塩見山	54	588	
		山下谷	29	419	
		梅曾根	34	880	
		中山	32	600	
		軽井沢	17、18	2,000	
		高野林道高野支線	62	118	
		城木山林道第二支線	110	300	
		萩林道萩支線	114	1,300	
		敷屋林道敷屋支線	157	1,500	
		敷屋林道敷屋第二支線	161	220	
		神楽山林道神楽山支線	149	830	
		四時川林道19支線	319	1,000	
		四時川林道四時川支線	327、341	1,860	
		横川	313	1,770	
		折松林道折松第二支線	433	892	
		田代第二	444	513	
		綱木林道綱木支線	425	770	
		水無川	(2036)	(1,220)	
		北の沢	(2076)	(1,330)	
		赤宇木	(2070、2071、2110)	(1,000)	
		明治林道明治支線	2117、2118、2119、 2079	1,650	
		七曲・高部林道上北迫支線	(745)	(3,000)	
		箒平	(749、750)	(1,440)	
		紅葉沢	(646)	(691)	
		唐室	(646、647)	(895)	
青沢	(539、540、541、640)	(2,180)			
毛戸	(631)	(720)			
阿掛	(1066)	(282)			

注 () 内の数字は避難指示区域のものであり、内書き。

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	中ノ森	(1054)	(1,160)	
		十万山	(1311)	(780)	
		第二賀老	(1109、1110)	(1,390)	
		滝の倉	(1096、1094)	(890)	
		数馬沢	(2225、2226)	(930)	
	小計		41路線	43,785 (17,908)	
基幹	改良	四時川林道	304、305、312、 322、323、 325～327、329	40	
		戸草林道	386、388、389	45	
		塩田林道(江田)	8、9	280	
		折松林道	431、433、435、 437～442	139	
	小計		4路線	504	
その他	改良	神楽山林道	141、146、147、 149、150	50	
		銅山林道逆川分線	171、173、174	50	
		敷屋林道大戸沢支線	161～163	205	
		下戸草林道	387	10	
		貝屋川林道	419	60	
		明神山林道	352、358	15	
		大滝沢林道第一支線	429	85	
		中丸山林道	415、416、421	10	
		中川林道	129	20	
		北影林道	2257	200	
	小計		10路線	705	
計	開設		41路線	43,785 (17,908)	
	改良		14路線	1,209 (-)	

注1 ()内の数字は避難指示区域のものであり、内書き。

2 開設は全て林業専用道である。

4 治山に関する事項

(単位：保安林の整備 ha、保全施設 箇所)

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
65、180、446、2122、2123、2263	保安林の整備	本数調整伐	15ha (1.78 ha)
9、12、19、157、177、387、395、418、419、 427、429、745～749、2008、2015、2100、 2257～2259	保 全 施 設	溪 間 工	19箇所 (5箇所)
		山 腹 工	5箇所 (4箇所)
		計	24箇所 (9箇所)
合 計	保安林の整備		15ha (1.78 ha)
	保 全 施 設		24箇所 (13箇所)

注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

注) () 内の数字は避難指示区域のものであり、内書き。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

当計画区は、下記の保護林を設定し、動植物の保護、遺伝資源の保存等を図っていくこととする。

種類	名称	既設・ 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
森林生物遺伝資源保存林	阿武隈高地	既設	1,189.84	1い～ち 2い～ほ 3い～は 4い、ろ 5い～ほ 6い～へ 8い 101い～わ、ロ 102い ₁ ～に ₇ 127い～に 128ち、る ₁ 、る ₂ か、イ 132い、ら～お、 イ ₂ 133い～は 134い、に、わ、 か、イ ₁ 136ぬ～よ 137い ₁ 、は～へ	森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源を森林生態系内に保存し将来の利用可能性に資する。
森林生物遺伝資源保存林計			1,189.84		
林木遺伝資源保存林	赤井岳 ヒノキ	既設	10.55	63い	天然生ヒノキの遺伝資源の保存
	木戸川 コナラ	既設	6.58	711い ₈	コナラの遺伝資源の保存
	津島マツ	既設	3.43	1015ろ、は	津島マツの代表的な林分で学術又は森林施業上の考証
林木遺伝資源保存林計			20.56		
植物群落保護林	木戸川 モミ・ コナラ等	既設	101.65	711い ₁ 、い ₇ 728全	モミ、コナラ等落葉広葉樹林で原生林に準じ植物学的考証
植物群落保護林計			101.65		
合計			1,312.04		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	いわき	既設	360.27	65そ	背戸峨廊は、森林の美と相まって、自然が造り出した色々な形の滝、よどみや急流が多く、優れた景観を有している。春のツツジ等の開花期から紅葉までの三季型の利用形態でハイキング、ピクニック、自然探勝等の利用が行われている。 また、いわき海岸は、白砂と青松の続く海岸で通称新舞子浜と呼ばれ、いわき七浜の一つに数えられており、県内外からの多数の利用客で賑わっている。	天然生林施業	実施主体： いわき市 ・歩道、園地 実施主体：国 ・歩道、標識	—	
			森林スポーツゾーン (98.69)	139へ、ち 140い、は、に、へ 150い、ろ 151全					
			風致探勝ゾーン (261.58)	65に1～れ、つ、ね 139い～ほ2、と 140ろ1～ろ5、ほ1、ほ2 180い1～ぬ6、					
			65ハ、ニ 180イ～ホ6			林地以外	実施主体： いわき市 ・野営場、 宿泊施設 実施主体：国 ・標識	—	
自然休養林計			360.27						
森林スポーツ林	ふくの神の里	既設	4.60	1042は2	隣接民有林地内のキャンプ場と一体となつて、ハイキング、自然探勝等の利用を図る。	育成複層林施業	実施主体： 浪江町 ・施設なし	—	
森林スポーツ林計			4.60						

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風	赤井岳	既設	80.83	63ろ～に4	赤井岳の南西面に位置する、モミ、ブナ、コナラ等により構成された天然林で国道49号線からの遠景林として優れた景観を呈している。	天然生林施業	実施主体・施設なし	—	
				63イ、ロ		林地以外		—	
景	鹿ノ又川溪谷	既設	20.72	108ね、ら 126い～は、に3	夏井川の支流鹿ノ又川の両岸に位置する、モミ、クリ、コナラ等を主体とした天然林で、区域のほぼ中央を通る県道上川内・川前線からの近景林として優れた景観を呈している。	天然性林施業	実施主体：いわき市・施設なし	—	
				108な、む 126へ、と		育成複層林施業		—	
林	木戸川	既設	225.35	703ほ3、ほ4 704い2、ろ2、は2 705い1、い2 708い1、い2 709い、711い10 733い、736い 737い1 738ろ1～に2703と3 738い、ほ1、ほ2	滝と溪谷が連なり、自然景観に優れ、自然探勝等に適している。	天然生林施業	実施主体： 檜葉町 ・遊歩道 実施主体：国 ・林道	—	
				738イ1、イ2、ロ		育成複層林施業		—	
						林地以外			

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風景林	郭公山	既設	62.85	702か2、よ 703ち 704は3、に2 ----- 701イ1、イ2 702イ	郭公山西面に位置し、ブナを混えコナラを主にアカマツ、モミなどの混交する天然林で優れた自然景観と山頂からの展望が優れ、自然探勝等に利用されている。	天然生林業 ----- 林地以外	実施主体： 檜葉町 ・駐車場	—	
	日山	既設	10.67	1046ち 1259る	優れた自然景観を有するため、自然環境の保全・形成に配慮しつつ森林レクリエーション利用の拡大を図る。全域が県立自然公園に指定されている。	育成複層林施業	実施主体： 大熊町 ・施設なし	—	
	立石	既設	88.20	2207い	天然林を背景とした白雲石の石柱(高さ21m)と真野川の溪流が一体となって優れた景観を作りだしている。	天然生林業	実施主体： 南相馬市 ・歩道 実施主体：国 ・歩道	—	
風景林計			488.62						
風致探勝林	四時川	既設	84.97	333全	蛇行する溪谷とブナ、コナラ、ミズナラ、カエデ等を主とする天然林が織りなす森林美、これら森林の生態系の観察及び自然探勝等市民の憩いの場となっている。	天然生林業	実施主体： いわき市 ・歩道 実施主体：国 ・歩道	—	

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風致探勝林	高瀬川溪谷	既設	279.41	1224い1、い2 1225い～は 1226全 1227～ 1287に～ほ2	流域一帯の山岳、森林が構成する溪谷美を有するため、自然探勝等に適している。全域が県立自然公園に指定されている。	天然生林施業	実施主体： 浪江町 ・施設なし	—	
	新田川溪谷	既設	409.05	2019全、2020全 2025い1、い2 2026い1、い2 2027い1、い2 ----- 2025ろ～り 2026ろ、2027ろ	蛇行する溪谷と自然林のまま保存された溪岸との自然景観が優れており、ハイキング、溪谷探勝等に適している。	天然生林施業 ----- 育成複層林施業	実施主体： 南相馬市 ・施設なし 実施主体：国 ・歩道	—	
風致探勝林計			773.43						
その他	明神山展望台	既設	0.02	357よ3		天然生林施業	実施主体： いわき市 ・施設なし 実施主体：国 ・歩道	—	
	大風溪谷駐車場	既設	0.30	428イ		林地以外	実施主体： いわき市 ・駐車場	—	

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
その他	横川入園地	既設	1.60	2060に		天然生林施業	実施主体： 南相馬市 ・施設なし	—	
	ひもろぎ森林	既設	4.63	2336に2 ----- 2336た、れ2、そ2		天然生林施業 ----- 育成複層林施業	実施主体： 飯舘村 ・歩道	—	
その他の計			6.55						
合計			1,633.47						

7 公益的機能増進協定の名称及び区域等
該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 ha	位置 (林小班)	備考
施業指標林	間伐推進指標林	昭61. 11	1. 02	431る ₅	間伐技術の普及及び利用面を重視した間伐を積極的に推進する。
施業指標林計			1. 02		
試験地	霊前A種 収穫試験地	昭13. 3	2. 06	2250は	収穫量の統計資料収集
	敷屋A種 収穫試験地	昭14. 9	1. 13	155ぬ	収穫量の統計資料収集
	菖蒲沢A種 収穫試験地	昭15. 2	1. 38	2095い	収穫量の統計資料収集
	桐平A種 収穫試験地	昭16. 3	1. 01	1014ろ	収穫量の統計資料収集
	勿来広葉樹 施業試験地	平 1. 4	17. 06	405ろ内 406は	農林水産系生物秩序の解明と最適制御に関する総合研究(プロット調査)
	放射性物質試験地	平23. 8	41. 06	623ほ	放射性物質調査地
試験地計			22. 64		
展示林	モミ	昭48. 4	2. 79	515な	磐城モミの形質優良な林分の長期的保存
	天然アカマツ	昭48. 4	9. 63	611い ₁	天然アカマツの形質優良な林分の長期的保存
	津島マツ	昭58. 4	2. 54	1031に	津島マツを代表する優良林分の保存
	目兼	平 5. 4	6. 84	301ち	学術又は森林施業上の考証及び間伐試験
	津島マツ	平 5. 4	0. 36	1010り ₁	津島マツを代表する優良林分の保存
	津島マツ	平 5. 4	4. 65	1014る ₁	津島マツを代表する優良林分の保存
展示林計			26. 81		
次代検定林	有名松系統 試験地	昭40. 5	4. 00	1223は内	合理的短伐期育成 (関前ホ)
	一般検定林	昭41. 4	0. 74	19る ₂	(関前第01号)
	一般検定林	昭42. 4	0. 29	32ほ ₂ 、ほ ₃	(関前第02号)
	一般検定林	昭45. 4	1. 36	752し ₂ 、し ₃ 、 し ₄	クロマツ品種系統の検討 (関前第05号)

種 類	名 称	設定年	面 積 ha	位 置 (林小班)	備 考
次代検定林	一般検定林	昭47. 4	2.50	620ろ、り ₁ 、 わ	アカマツ品種系統の検討 (関前第10号)
	一般検定林	昭49. 4	0.36	441ほ ₄	(関前第23号)
	地域差検定林	昭49. 4	0.47	308ろ ₃	(関前第24号)
	遺伝検定林	昭50. 4	1.99	1047と、ち	品種系統の検定 (関前第31号)
	遺伝検定林	昭53. 4	1.19	1255い ₄	品種系統の検定 (関前第51号)
	遺伝検定林	昭53. 4	1.86	2324か ₂ 、か ₃	形質に関する遺伝的 特性の解明 (関前第50号)
	試植検定林 (関耐寒風前 第8号)	昭58. 6	0.79	169ほ ₃	抵抗性(気象害)試験地より 種別変更 (前整第07号)
	遺伝検定林	昭61. 4	1.02	443と ₄	(関前第59号)
	遺伝検定林	昭61. 4	1.12	2056い ₄ 、い ₅	形質に関する遺伝的 特性の解明 (関前第61号)
	抵抗性検定林 (関耐寒風前 第10号)	昭62. 4	1.09	1029は ₁	スギ抵抗性品種選抜試験
	試植検定林	平 6.12	0.57	2105い ₄	韓国産アカマツ、クロマツ の適応性検定 (関前試第01号)
	一般検定林	平11. 5	0.76	442お ₂ 内	育種集団林 (関前第71号)
	一般検定林	平12. 5	0.78	308る ₂ 内、 る ₄ 内	育種集団林 (関前第75号)
	一般検定林	平13. 5	0.78	362ほ ₂ 内	育種集団林 (関前第78号)
次代検定林計			21.67		
遺伝子保存林	アイノコマツ 遺 伝 子	昭34. 5	1.34	515う ₂	
	アイノコマツ 遺 伝 子	昭34. 5	1.11	515う ₃	
	アカマツ遺伝子	昭43. 4	1.49	1024る ₃	
	アカマツ遺伝子	昭43. 4	2.63	1045ぬ ₂	

種 類	名 称	設定年	面 積 ha	位 置 (林小班)	備 考
遺伝子保存林	アカマツ遺伝子	昭43. 4	1.81	1069い ₂	
	アカマツ遺伝子	昭43. 4	1.05	1223い ₂	
	アカマツ遺伝子	昭43. 4	1.86	1250つ ₂	
	アカマツ遺伝子	昭43. 4	0.14	1250つ ₄	
	スギ遺 伝 子	昭43. 4	3.00	2070ほ	
	クロマツ遺伝子	昭43. 4	1.00	2263の	
	優 良 遺 伝 子	昭43. 5	1.94	306ほ ₂	スギ
	優 良 遺 伝 子	昭43. 5	1.03	439よ	スギ
	優 良 遺 伝 子	昭52. 4	0.34	443と ₁₁	スギ
	優 良 遺 伝 子	昭52. 4	0.76	443と ₁₂	スギ
	スギ遺 伝 子	昭52. 4	1.00	2037り	
	スギ遺 伝 子	昭56. 4	1.00	2051と ₄	
	優 良 遺 伝 子	昭56. 5	1.06	389ち	スギ
遺 伝 子 保 存 林 計			22.56		
精英樹保護林	スギ勿来4号	昭31. 3	0.10	301り	
精 英 樹 保 護 林 計			0.10		
合 計			94.80		

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備考
180い ₁ ~い ₄ 、に ₁ 、に ₁₀ ~に ₁₂ に ₁₄ ~に ₁₈	ふれあいの森 「新舞子ふれあいの森」	いわき青年林業会議所 37.97 ha
710イ ₃ 内	社会貢献の森 「木戸川漁協・乙次郎の森」	木戸川漁業協同組合 0.27 ha
1014い ₁ ~い ₄ 、は~か 1015い ₁ ~い ₄ 、に~わ	遊々の森 「ひみつの基地の森・つしま」	浪江町長 108.34 ha
2121い	遊々の森 「南相馬市民の森」	南相馬市 0.74 ha
2350う ₂ 、2351い ₁ ~ ₃ 、い ₆ 、ろ ₁ 、 2351ろ ₂ 、ろ ₄ 、ろ ₇	遊々の森 「あいの沢遊々の森」	飯舘村長 108.34 ha
213へ、ち、わ ₂ 、214ほ ₃	ボランティアの森 「とわだ遊学の森」	いわきの森に親しむ会 43.98 ha
1027わ ₁ 、1054イ、ロ、 1055ほ、と、ち~る、わ ₁ 、た、 ね ₁ 、ね ₂ 、イ、ロ、ハ、 1061い ₆	ボランティアの森 「浪江元気の森」	浪江町長 36.15 ha
707は、ち	ボランティアの森 「木戸川漁協の森」	木戸川漁協協同組合 0.25 ha
16ね、な ₁ ~ ₉	ボランティアの森 「アカヤシオの森」	明日の軽井沢を考える会 23.49 ha
392ぬ ₁ ~ ₅ 、る ₁	ボランティアの森 「ヤマボウシの森」	貝泊コイコイ倶楽部 60.35 ha

(注) 「ボランティアの森」は「ふれあいの森」の対象とならない箇所で、自主的な森林整備等のボランティア活動ができるよう、関東森林管理局独自に創設した制度である。

なお、活動期間の更新に当たっては、協定締結による国民参加の森林づくり実施要領に基づき、森林整備を行う場合は「社会貢献の森」、森林教室や自然観察等を行う場合は「多様な活動の森」など、その活動内容の要件を満たす活動へ移行する。

(3) 森林協同施業団地

該当なし。

(4) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施 業 方 法
146そ ₁ ～そ ₃ 147に ₁ 、に ₂ 、な、う ₁ 149い、わ ₁ 、わ ₂ 2099へ		育成複層林施業
146ね～ら 147は、ら、う ₂ 、お 149ぬ 1005わ～か ₃ 1097い 1099い 2099は、ほ		天然生林施業
2122イ ₁ ～イ ₃		林 地 以 外
計	79.30	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。